

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こもれび		
○保護者評価実施期間	令和8(2026)年2月23日		～ 令和8(2026)年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和8(2026)年3月11日		～ 令和8(2026)年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8(2026)年3月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境、支援の内容・質、保護者対応、非常時についての説明等、各課題について概ね満足という回答を頂いている。	どの職員も、普段からメールや電話、送迎時に、各保護者に対して丁寧に報告や連絡をさせて頂いている。	運営アプリを更に活用し、日々の利用児童の様子や活動内容がより保護者の方に伝えられるようにしていきたいと考えている。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもとの交流が出来ていないこと。	実際に放課後児童クラブとの交流は出来ていない。定員10名の児童発達支援・放課後等デイに対して、放課後児童クラブは規模が大きく、なかなか交流を申しづらい現実がある。	実際には、公園や出かけ先で、様々なお子さんや大人と接する機会がある。普段なかなかない体験をした時には、出来る限り連絡帳で保護者の方に報告をしている。利用回数が少なく外出行事に参加できていない利用児童の保護者には、対応できる機会さえないかもしれない。長期休暇や祝日を利用し、色んな曜日に外出行事を行えるよう、工夫したい。
2	保護者の交流の機会を提供できていない。	出来る限り障害特性が類似している保護者同士の交流の場を提供したいと考えているが、各利用児童の特性が様々であるため、実現しづらい状況にある。	障害特性に関係なく、就学児の保護者として、どの方も興味を持たれるような課題を考え、その課題についての講演会を開く等しても良いかと思われる。
3			